

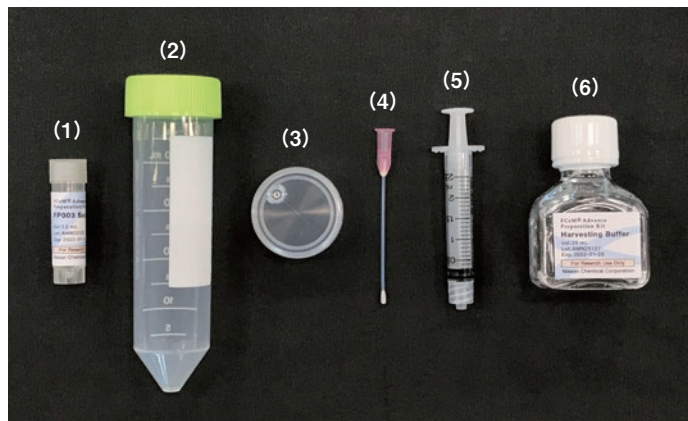
FCeM[®] Advance Preparation Kit

培地作製プロトコル

概要

本キットは、任意の培地に対して三次元培養培地FCeM[®]-series Preparation Kitと同様な浮遊性能を付与することができます。低接着培養容器を用いれば三次元浮遊細胞培養（無攪拌の分散培養）が可能で、培養後の細胞懸濁液にHarvesting Bufferを添加して遠心分離することにより高効率で細胞回収することができます。

キット構成



- (1) FP003液…1.2mL (保管温度2-30℃)
- (2) 50mLコニカルチューブ…1組 (オートクレーブ可^{*1})
- (3) アダプターキャップ…1個 (オートクレーブ可^{*1})
- (4) プラスチック針…1本
- (5) 2.5mLシリンジ…1本
- (6) Harvesting Buffer…25mL (保管温度2-30℃)

^{*1} 120℃、20分

本キット以外に必要な器具・設備

- クリーンベンチなどの無菌操作が可能な設備
- 電動ピペッター、ピペット (25mLまたは50mL)
- 三次元培養に使用したい任意の培地

培地種類	培地量 ^{*2} (mL)	FP003 Solution (mL)
DMEM, DMEM, EMEM, DMEM-Ham's F12, mTeSR [™] -E8 [™] , Essential 8 [™] , StemFit [®] AK02Nなど	49.2	0.8
RPMI1640 等	49.0	1.0

^{*2} 作製培地量を減らす場合には、FP003 Solutionも同じ割合で減らして添加して下さい。
キットの推奨作製培地量は30~50mLです。

注) 本製品はFP003と培地成分との相互作用により浮遊作用を発生させています。培地組成によっては浮遊作用が得られない場合があります。

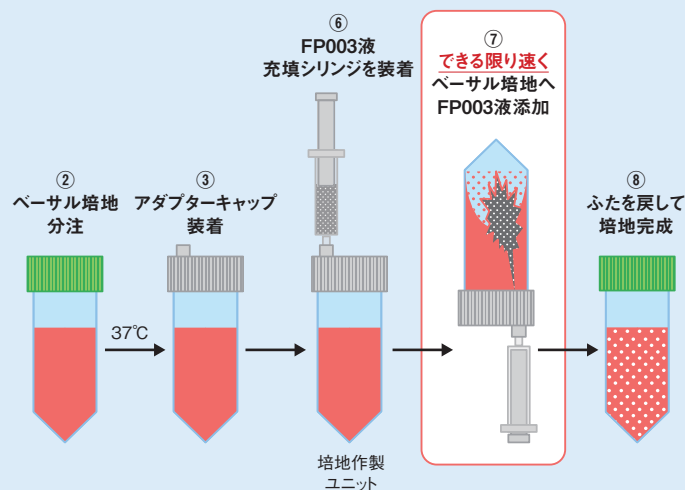
注意

- 本製品は研究用試薬です。試験研究用以外の目的に使用しないでください。
- 手袋、保護用メガネ等により適切な身体保護を施してください。
- 本製品と眼や皮膚との接触を避け、飲み込んだり、吸引したりしないでください。
- 発生した損害については、責任を負いかねますのでご了承願います。

培地の作製方法

- ① 三次元培養に使用したい任意の培地を37℃に温めます。
- ② コニカルチューブ(2)へ所定量加えます。
- ③ 培地を入れたコニカルチューブ(2)のキャップ(緑)を外し、アダプターキャップ(3)を装着します。
- ④ プラスチック針(4)をシリンジ(5)へ装着します。
- ⑤ プラスチック針を装着したシリンジで所定量のFP003液(1)を分取後、プラスチック針をシリンジから取り外します。
- ⑥ FP003液を充填したシリンジ⑤をアダプターキャップ装着のコニカルチューブ③へ接続し、培地作製ユニットを組上げます。
- ⑦ シリンジとコニカルチューブが緩まないようしっかりと指で固定し、培地作製ユニットを反転させて、下方からシリンジでFP003液を**できる限り速く一気に**コニカルチューブ内の培地へ添加します。(概ね0.5秒以内)
- ⑧ シリンジおよびアダプターキャップを外してコニカルチューブのキャップ(緑色)で密栓し、作製した三次元培養培地を均一となるよう穏やかに転倒混和します。
- ⑨ 一晚冷蔵(2~8℃)保管し、必要に応じて任意のサプリメント等添加して、三次元浮遊培養にご使用下さい。

注) 作製した培地は、凍結すると浮遊性能を失います。



お問合せ下さい

培地作製条件や操作でご不明な点、培地作製を失敗してしまった場合、浮遊効果が得られない場合等、ご不明な点がございましたらお気軽にお問合せ下さい。